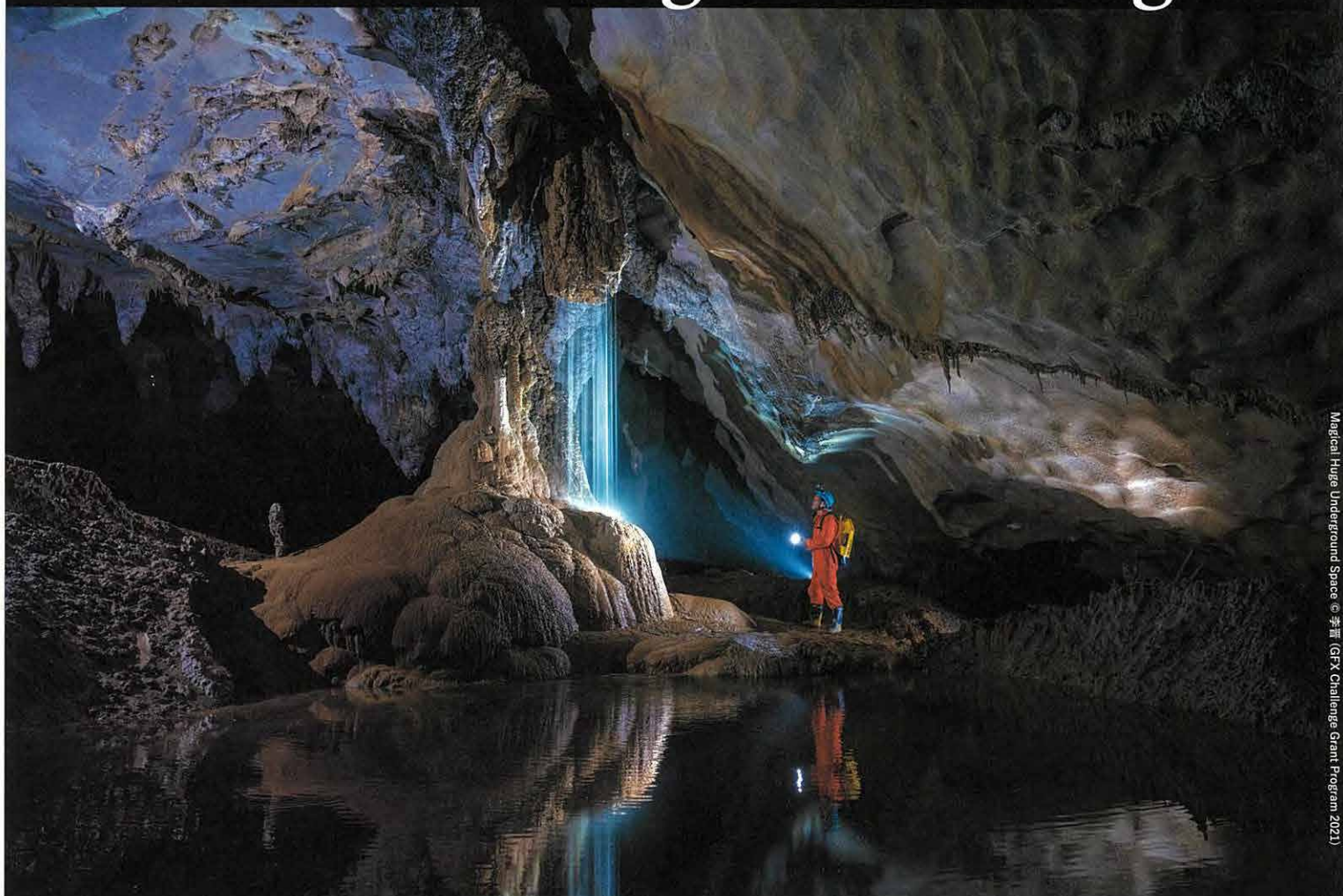


# GFX Challenge Grant Program



Magical Huge Underground Space © 李重 (GFX Challenge Grant Program 2021)

富士フィルムが主催する「GFX Challenge Grant Program 2021」は、世界各国で活躍するクリエイターの創作活動サポートを目的とした新たな助成金プログラムです。2020年11月から2021年1月の期間、全世界を5つの地域に分け、写真家が助成金を使って成し遂げたいクリエイティブなアイデアと制作テーマを撮影企画書にまとめて応募していただきました。当初の想定を上回る約3,000件の応募は、非常によく練られた独創的なアイデアの数々で、選考・審査は難航しましたが、2022年3月に受賞15テーマを決定しました。

制作活動のサポートとして、「Global Grant Award」受賞者の5名には10,000ドル相当の助成金を、「Regional Grant Award」受賞者の10名には5,000ドル相当の助成金をご提供、さらに、制作に使用する機材として、富士フィルム ラージフォーマット デジタルカメラシステム GFXを無償貸与させていただきました。そして、制作期間5ヶ月を経て、2022年8月ついに15作品が完成しました。

本展では、「GFX Challenge Grant Program 2021」を通じて制作された受賞者15名の作品を一挙展示いたします。世界各国から集まったオリジナリティあふれる写真・映像作品をお楽しみください。



フジフィルム スクエア  
<https://fujifilmsquare.jp/>



富士フィルムフォトサロン大阪  
<https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/>



写真家による撮影企画のメイキング映像  
(11/4以降掲載予定)  
<https://fujifilmsquare.jp/interview/index.html>



GFX Challenge Grant Program 2021  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/special/gfx-challenge-program/#>

## FUJIFILM SQUARE

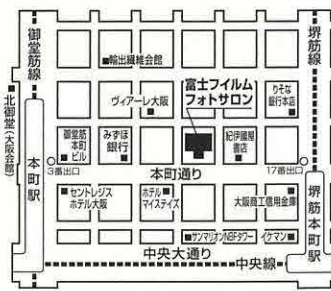
富士フィルムフォトサロン 東京  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3  
フジフィルム スクエア内  
TEL.03(6271)3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結  
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩4分  
東京メトロ千代田線「六本木駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン 大阪  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7  
メットライフ本町スクエア (旧大阪丸紅ビル) 1F  
TEL 06-6205-8000 電話受付時間 [平日10:00~18:00]

地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩5分  
地下鉄 御堂筋線「新本町」駅下車17番出口より徒歩3分



入館無料

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。  
※ 祝花は固くお断り申し上げます。

FUJIFILM  
Value from Innovation



Photographer © Andris Doh (GFX Challenge Grant Program 2021)

富士フィルム 企画写真展

## GFX Challenge Grant Program 2021

# Make Your Next Great Image

2022.11.4 [金] — 24 [木]

富士フィルムフォトサロン 東京 入館無料・会期中無休  
10:00-19:00 (最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで)

2022.12.16 [金] — 25 [日]

富士フィルムフォトサロン 大阪 入館無料・会期中無休  
10:00-19:00 (最終日19:00まで、入館は終了10分前まで)

主催 富士フィルム株式会社

全世界から選ばれたクリエイター15名の作品展

# GFX Challenge Grant Program





# GFX Challenge Grant Program

全世界から選ばれたクリエイター 15名の作品がついに完成!

Global Grant Award 受賞者



ロドリゴ・イジェスカス  
Rodrigo Illescas (アルゼンチン)

「The Cathedrals of Nostalgia (郷愁の大聖堂)」  
ペノスアイレス近郊の廃墟となった街に住み続ける人々と  
とらえた環境ポートレート。緻密に考え抜かれた構図を、  
ラージフォーマットデジタルカメラが繊細かつリアルに描写  
します。

The Cathedrals of Nostalgia ©Rodrigo Illescas



アンドラス・ドビ András Dobi (ドイツ)  
「Photoreographia (フォトグラフィア)」

ダンスと写真を融合した撮影プロジェクト。俯瞰で見る  
ダンサーの動きを長時間露光で捉え、新たな視覚的表現  
を提示します。

Photoreographia ©András Dobi



クリタヌン・タントラポーン  
Krittanun Tantraporn (タイ)

「The Great Little Life (素晴らしき小さな命)」

小さな昆虫の標本を4億画素の超高解像画像で撮影し、  
人間の目では見ることのできない小さな世界を写真によっ  
て可視化します。

The Great Little Life ©Krittanun Tantraporn



リー・ジン 李晋 (中国)  
「Magical Huge Underground Space  
(神秘の超巨大洞窟)」

中国の地底に広がる5つの超巨大洞窟の自然が創り出す、  
圧倒的なダイナミズムをラージフォーマットデジタルカメラで  
とらえた作品。

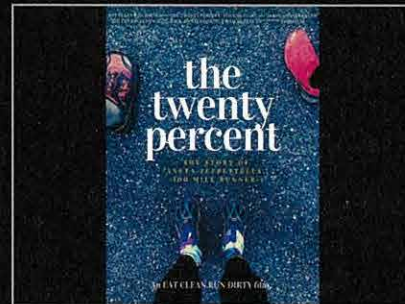
Magical Huge Underground Space ©李晋



福島あつし (日本)  
「ジバングプロジェクト  
～生きる力は、こんなに美しい～」

沖縄から北海道まで日本列島を徒歩で縦断し、その道中で  
出会う人々とふれあい、写真に残すプロジェクト。日本各地  
のありふれた日常をラージフォーマットデジタルカメラで切り  
取ります。

ジバングプロジェクト～生きる力は、こんなに美しい～©福島あつし



ジェシカ・バンデンブッシュ  
Jessica Vandebush (米国)  
「The Twenty Percent (20 パーセント)」【動画】

ウルトラマラソン界で躍動する女性アスリートにスポット  
ライトをあて、より多くの女性にこの競技に参加して  
もらうことを願い制作した短編ドキュメンタリー映画。  
全編をラージフォーマットデジタルカメラで撮影。

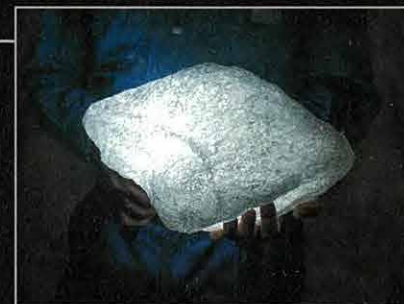
The Twenty Percent ©Jessica Vandebush



アレハンドラ・ラハル  
Alejandra Rajal (メキシコ)  
「The Changing Wave (変わりゆく波)」

メキシコ キンタナ・ロー州の海岸沿いで起きている気  
候変動に起因する環境問題と、その地に暮らす人々の  
生活に焦点を当てたドキュメンタリー。

The Changing Wave ©Alejandra Rajal



ジウリオ・ディ・ストウルコ  
Giulio Di Sturco (イタリア)  
「A New Era of Salt Extraction  
(製塩の新時代)」

気候変動の影響を受けているヨーロッパ各所の製塩地  
の今を、ラージフォーマットデジタルカメラでとらえ  
ます。

A New Era of Salt Extraction ©Giulio Di Sturco



マリア・ラックス Maria Lax (フィンランド)  
「Night Rising (浮かぶ夜)」

暗闇に浮かび上がる彩り豊かで神秘的な風景を、ラ  
ージフォーマットデジタルカメラで撮影します。

Night Rising ©Maria Lax



ロブ・アネズレー  
Rob Annesley (オーストラリア)  
「The UnderWorld (アンダーワールド)」

環境破壊により消滅していくオーストラリアの昆虫生態  
を、ラージフォーマットデジタルカメラでとらえる作品  
です。

The UnderWorld ©Rob Annesley



ジョセフ・マシュー・ダニエル  
Joseph Mathew Daniel (インド)  
「Iqbal in Harmony with Nature  
(自然との調和)」【動画】

ニルギリスとベンガル湾に浮かぶアンダマン島を舞台に、  
インドの著名写真家イクバル・モハメッドが語る  
自然との調和をテーマにした詩的なドキュメンタリー  
映画。

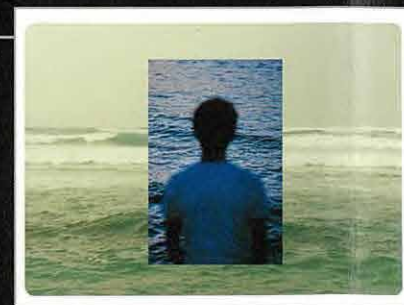
Iqbal in Harmony with Nature ©Daniel Mathew Joseph



パン・ワン Pan Wang (中国)  
「The Ballad of the Yellow River  
(黄河のパラード)」

山岳地帯から山東省に位置する河口まで黄河を辿り、  
黄河周辺に暮らす人々ととらえるヒューマンドキュメン  
タリー。

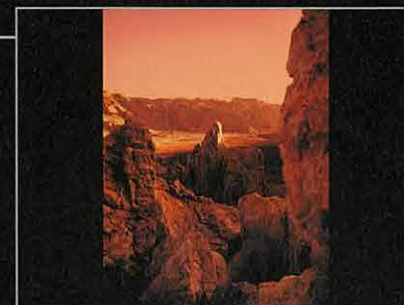
The Ballad of the Yellow River ©Pan Wang



ジャスティン・ヒュイ Justin Hui (香港)  
「Searching for Poon (祖母を求めて)」

手元に残された過去の写真をヒントに、現在の香港を  
駆け巡り、認知症を患った祖母プーンの人生を追いか  
けます。

Searching for Poon ©Justin Hui



シンwoo・パーク Shinwoo Park (韓国)  
「Active Volcano Trip to Find Sublime and  
Beauty (崇高な美しさに出会う活火山の旅)」

カナリア諸島のラ・パルマ島にて活火山を赤外線領域  
撮影にも対応した「GFX100 IR」で撮影し、肉眼では  
見えない風景を映し出します。

Active Volcano Trip to Find Sublime and Beauty  
©Shinwoo Park



バーバラ・ミニシ Barbara Minishi (ケニア)  
「UTAWALA -The Kenya Traveling Dress  
Legacy Project (UTAWALA ～)」

多様なバックグラウンドを持ったケニアの女性30名の  
赤いドレスを纏った姿をラージフォーマットデジタル  
カメラで撮影する環境ポートレートプロジェクト。  
「Utawala」とはスワヒリ語で治略を意味します。

UTAWALA -The Kenya Traveling Dress Legacy Project  
©Barbara Minishi

Regional Grant Award 受賞者



# GFX Challenge Grant Program



富士フィルムが主催する「GFX Challenge Grant Program 2022」は、世界各国で活躍するクリエイターの創作活動サポートを目的とした助成金プログラムです。

2022年9月から2022年11月にかけて、全世界を3つの地域に分け各地域の写真家から、クリエイティブなアイデアと制作テーマをまとめた撮影企画書での応募を募りました。選考は3ヶ月かけて行われ、地域別に実施された一次、二次選考、さらに、外部審査員を招きグローバルで実施された最終選考を経て、2023年3月に受賞15テーマを決定しました。

制作活動のサポートとして、「Global Grant Award (大賞)」受賞者の5名には10,000ドル相当の助成金を、「Regional Grant Award (優秀賞)」受賞者の10名には5,000ドル相当の助成金をご提供、さらに、制作に使用する機材として、富士フィルム ラージフォーマット デジタルカメラシステム GFXを無償貸与させていただきました。そして、制作期間5カ月を経て、2023年8月ついに15作品が完成しました。

本展では、「GFX Challenge Grant Program 2022」を通じて制作された受賞者15名の作品を一堂に展示いたします。世界各国から集まったオリジナリティあふれる写真・映像作品をお楽しみください。



フジフィルム スクエア  
https://fujifilmsquare.jp/



富士フィルムフォトサロン大阪  
https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/



写真家による撮影企画のメイキング映像  
(11/4以降掲載予定)  
https://fujifilmsquare.jp/interview/index.html



GFX Challenge Grant Program 2022  
https://fujifilm-x.com/ja-jp/special/gfx-challenge-program/2022/

## FUJIFILM SQUARE

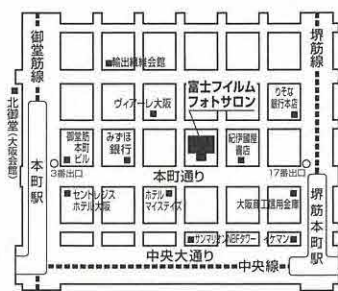
富士フィルムフォトサロン 東京  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3  
フジフィルム スクエア内  
TEL.03(6271)3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結  
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩4分  
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン 大阪  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7  
メットライフ本町スクエア (旧大阪丸紅ビル) 1F  
TEL 06-6205-8000 電話受付時間 [平日10:00~18:00]

地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩5分  
地下鉄 堺筋線「堺筋本町」駅下車17番出口より徒歩3分



THIS IS MECENAT 2023 富士フィルムフォトサロンは、2023年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2023」の認定を受けております。

入館無料

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。 ※ 祝日は固くお断り申し上げます。

FUJIFILM  
Value from Innovation



富士フィルム 企画写真展

## GFX Challenge Grant Program 2022

# Make Your Next Great Image

2023.11.10[金] — 30[木]

富士フィルムフォトサロン 東京 入館無料・会期中無休  
10:00~19:00 (最終日14:00まで、入館は終了10分前まで)

2023.12.8[金] — 20[水]

富士フィルムフォトサロン 大阪 入館無料・会期中無休  
10:00~19:00 (入館は終了10分前まで)

主催 富士フィルム株式会社

全世界から選ばれたクリエイター15名の作品展





# GFX Challenge Grant Program

全世界から選ばれたクリエイター 15名の作品がついに完成!

Global Grant Award



The Last Reindeer ©Katie Orlinsky

ケイティ・オーリンズキー  
Katie Orlinsky (米国)

The Last Reindeer (最後のトナカイ)

カナダの北西部に生息するカリブーとトナカイの個体数減少に焦点をあてたプロジェクトです。気候変動の影響が顕著に現れる北極圏の生態系を守るために先住民たちが行っている取り組みについて、壮大な自然とその地に暮らす人々をラージフォーマットカメラで捉えます。



Family Stuff ©Qingjun Huang

ホン・チンジュン Qingjun Huang (米国)  
Family Stuff (ファミリー・スタッフ)

家の内部にある物を外に出し、持ち物とその家族の写真を撮影したドキュメンタリーです。ただ日常の一コマを切り取るだけではなく、チンジュンのビジョンを通して家族・人、文化、特徴、記憶、社会の変化、環境、時代を記録した写真が完成します。

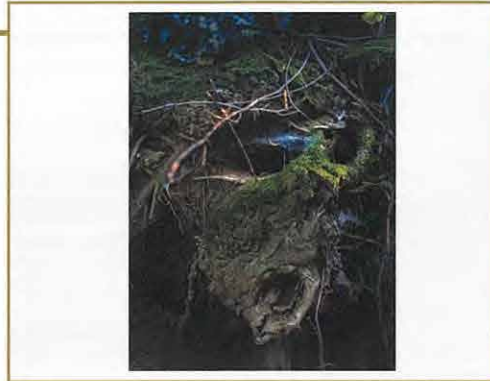


The Reading of the Environment ©Sharon Castellanos

シャロン・カステジャーノス  
Sharon Castellanos (ペルー)

The Reading of the Environment (古代からの知恵)

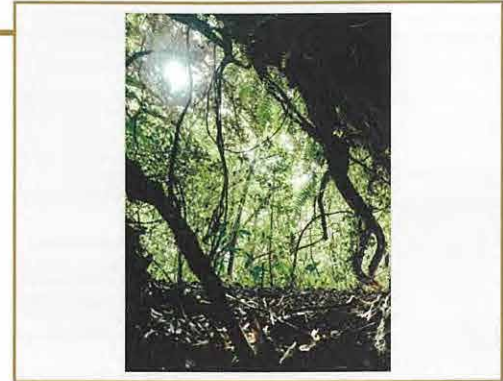
アンデス山脈に暮らす農家は凶作を防ぐために、自然界に現れる特定のサインを観察し解読することで天候を予測できるといわれています。このプロジェクトは、環境を自然の記号論として捉え、科学的研究と他の知識源との関連性をビジュアル化します。



Whisper of Soil ©David Gaberle

デービッド・ガバーレ David Gaberle (チェコ)  
Whisper of Soil (土のささやき) [動画]

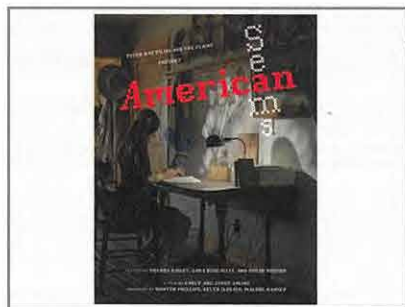
「人類は地球を欲望のままに形作ろうとしてきたが、地球には独自のルール体系があり、その生態系が脅かされている」とガバーレは語ります。安定した生態系を作ることを妨げているものを視覚的に分析し可視化することがこのプロジェクトのテーマです。



カリバリー島 - 生の記憶を辿る ©小原一真

小原一真 (日本)  
Calvary Island -Tracing the memories of humanity  
カリバリー島 - 生の記憶を辿る

感染症による差別を受けた人々と、そこに寄り添ってきた人々の記憶に焦点を当てたヒューマンドキュメンタリーです。人類の歴史の中でウイルスは常に社会の脅威であり、時に非感染者と感染者との間に多くの分断をもたらしました。このプロジェクトでは、20世紀前半から現在まで日本において感染症を経験した人々のさまざまな記憶を辿ります。



American Seams ©Carly&Jared Jakins

カーリー&ジャレッド・ジャキンス  
Carly&Jared Jakins (米国)  
American Seams (アメリカのつなぎ) [動画]

アメリカ西部に暮らすキルト職人に焦点をあてた短編ドキュメンタリー映画です。親密でウィットに富んだ会話とポートレートを通して、アメリカ西部の農村女性たちのアイデンティティを探ります。



Umbrā ©Elizabeth Moreno

エリザベス・モレノ  
Elizabeth Moreno (メキシコ)  
Umbrā (影)

バハ・カリフォルニア半島(メキシコ)の農村部に暮らす視覚障害者に苦しむ住民を撮影したプロジェクトです。医療体制が万全ならば予防可能な視力障害を持つ人々のポートレートと、彼らが暮らす砂漠や海岸の過酷で明るくコントラストの高い環境を表現した風景を並べることで、この医療問題を可視化することをテーマにしています。



PhotoArch - an image of the past ©Daniel Lindskog

ダニエル・リンドスコグ  
Daniel Lindskog (スウェーデン)  
PhotoArch - an image of the past  
(過去から未来へ)

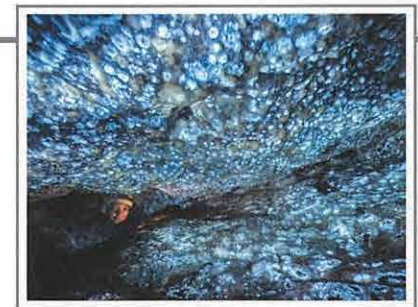
スカンジナビア民族移動期(西暦400年~800年頃)の遺物を4つの遺跡から採掘し、200点の写真を撮影するプロジェクトです。隣り合わせに並べられた出土品を1点に融合した写真は、ヘルファストで開催される世界最大の考古学学会で展示される予定です。



Ocean Wxman ©Madeline St Clair

マデリン・セント・クレア  
Madeline St Clair (イギリス)  
Ocean Wxman (海に生きる女性)

このプロジェクトは、インド太平洋に暮らす先住民や、先駆的な海洋保護家を追いかけ、コミュニティ内で海洋生態系の保護を形成する女性の物語を伝えます。



The Realm of Eternal Darkness in Invisible Light ©Ágnes Berentés

アグネス・ベレンテ  
Ágnes Berentés (ハンガリー)  
The Realm of Eternal Darkness in Invisible Light (永久の闇と見えない光)

人は光を頼りに生きていますが、人間の目は狭い範囲の光しか認識することができません。地中深くに広がる永遠の闇の世界では、光源は人間が持参するライトだけです。このプロジェクトでは壁面の鉱物がUVライトの光で何百万もの星や燦火のように輝くこのユニークな世界へと導きます。



Pepo Kali ©Lydia Matata

リディア・マタタ Lydia Matata (ケニア)  
Pepo Kali (疾風) [動画]

ケニアに実在するバイクが趣味(バイカー)の女性たちを題材にしたフィクション映画です。バイカーであった娘を事故で亡くした母親は、どのように悲しみを克服しようとするのでしょうか?コロナ禍で世界中が考えるようになった愛する人を失うことに対する「恐怖」と「悲しみ」を、この映画は探求します。



The Philippine Flora ©Jan Mayo

ジャン・マヨ Jan Mayo (フィリピン)  
The Philippine Flora: Portraits and Still Lives in Diptychs (フィリピンの花と人)

フィリピンの固有植物をビューティーエディトリアルとして紹介する写真プロジェクトです。固有種を2枚の写真で構成した本プロジェクトには、2つのテーマがあります。1つは植物と人間を組み合わせたビューティーポートレート、もう一つは植物をスティルライフとして捉えた作品です。



Ebb and Flow ©Tania Malkin

タニア・マルキン  
Tania Malkin (オーストラリア)  
Ebb and Flow (干満)

オーストラリアで最も人里から離れた海岸線や砂漠地帯を、ヘリコプターから撮影する空撮写真プロジェクトです。水や自然と生命の関係を描写・記録します。



Sanxingdui Speaks ©Yu Jia

ユー・ジア Yu Jia (中国)  
Sanxingdui Speaks (三星堆は語る)

中国四川省で発見された古代中国の遺跡「三星堆(さんせいたい)」は、ブロンズに鋳造された歴史書のように見えます。プロジェクトでは、三星堆の重要な文化財とその背後にある文化的な物語に焦点を当て、新たなビジュアル表現を模索します。三星堆の壊れた遺物を一つずつ抽出し、再生するプロセスを記録、最終的に出土品を完全な状態で見せるを試みます。



Underwater China Season 2 -Spotted Seal ©Zhou Fang

ゾウ・ファン Zhou Fang (中国)  
Underwater China Season 2 -Spotted seal (中国近海に暮らすゴマフアザラシ)

2019年にスタートしたドキュメンタリー番組「Underwater China」の2シーズン目です。中国の渤海、長江、南シナ海、青海湖、カルスト洞窟溪流、北燕湾に生息する絶滅の危機に瀕した水生生物の生存に焦点を当てます。

Regional Grant Award

優秀賞



# GFX Challenge Grant Program

**FUJIFILM** 90th  
Value from Innovation そしてその先の未来へ 100



Hinterland ©Markus Nanttila / GFX Challenge Grant Program 2023

富士フィルムが主催する「GFX Challenge Grant Program 2023」は、世界各国・地域で活躍するクリエイターの創作活動サポートを目的とした助成金プログラムです。

2023年8月から10月にかけて、全世界を3つの地域に分け各地域の写真家から、助成金を使って成し遂げたいクリエイティブなアイデアと制作テーマをまとめた撮影企画書での応募を募りました。選考は3ヶ月かけて行われ、地域別に実施された一次、二次選考、さらに、外部審査員を招きグローバルで実施された最終選考を経て、2024年1月に受賞15テーマを決定しました。

ドル相当の助成金をご提供、さらに、制作に使用する機材として、富士フィルム ラージフォーマット デジタルカメラシステム GFX<sup>®</sup> を無償貸与させていただきました。そして、制作期間6ヶ月を経て、2024年6月ついに15作品が完成しました。本展では、「GFX Challenge Grant Program 2023」を通じて制作された受賞者15名の作品を一堂に展示いたします。世界各国から集まったオリジナリティあふれる写真・映像作品をお楽しみください。

※ 富士フィルム ラージフォーマット デジタルカメラシステム GFX とは 35mm 判の約 1.7 倍となるラージフォーマットセンサーを搭載し、豊かな階調表現と浅い被写界深度による立体的な描写を可能とした、異次元の高画質をさらに身近にする画期的なミラーレスデジタルカメラシステムです。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/gfx-series/>

■ 外部審査員紹介

**アマンダ・マドックス Amanda Maddox**  
リードキュレーター  
(World Press Photo Foundation)

**ルシール・レイボーズ&仲西祐介 Lucille Reyboz & Yusuke Nakanishi**  
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭  
共同創設者/共同ディレクター

**ポリヌ・ヴェルマル Pauline Vermare**  
写真キュレーター  
(ブルックリン美術館)

**レスリー・A・マーティン Lesley A. Martin**  
エグゼクティブディレクター  
(Printed Matter, Inc.)

**佐藤正子 Masako Sato**  
写真展企画制作  
(株式会社コンタクト)



フジフィルム スクエア  
<https://fujifilmsquare.jp/>



富士フィルムフォトサロン 大阪  
<https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/>



写真家による撮影企画のメイキング映像  
<https://fujifilmsquare.jp/interview/index.html>

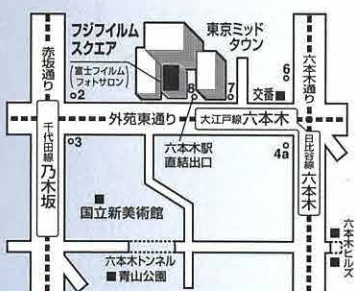


GFX Challenge Grant Program 2023  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/special/gfx-challenge-program/2023/>

## FUJIFILM SQUARE

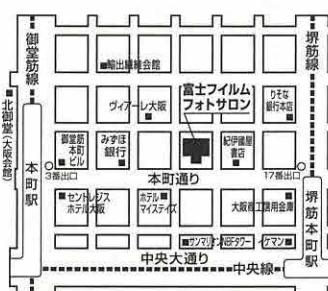
富士フィルムフォトサロン 東京  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3  
フジフィルム スクエア内  
TEL.03(6271)3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結  
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩4分  
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン 大阪  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7  
メットライフ本町スクエア (旧大阪丸紅ビル) 1F  
TEL 06-6205-8000 電話受付時間 [平日10:00~18:00]

地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩5分  
地下鉄 堺筋線「堺筋本町」駅下車17番出口より徒歩3分



THIS IS MECENAT 2024 富士フィルムフォトサロンは、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。

入館無料

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。  
※ 祝花は固くお断り申し上げます。



Wandering Star ©Vanessa Vetterlo / GFX Challenge Grant Program 2023

富士フィルム 企画写真展

## GFX Challenge Grant Program 2023

# Make Your Next Great Image

2024.11.8[金] — 28[木]

富士フィルムフォトサロン 東京 入館無料・会期中無休  
10:00-19:00 (最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで)

2024.12.20[金] — 2025.1.8[水]

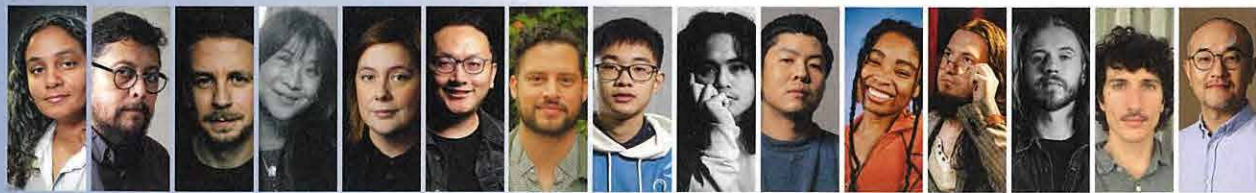
富士フィルムフォトサロン 大阪 入館無料・会期中無休  
10:00-19:00 (最終日19:00まで、入館は終了10分前まで)

主催 富士フィルム株式会社

# GFX Challenge Grant Program

全世界から選ばれたクリエイター15名の作品展





# GFX Challenge Grant Program

全世界から選ばれたクリエイター 15名の作品がついに完成!

Global Grant Award



The Body at Risk ©Jodi Windvogel

ジョディ・ウィンドヴォーゲル  
Jodi Windvogel (南アフリカ)

「The Body at Risk (危険にさらされる身体)」

南アフリカでは、女性人口の25%が身体的・性的暴力に苦しめられていると言われています。このプロジェクトでは、そのような社会的背景から形作られた風景を掘り下げ、そこに隠された物語に焦点を当てます。



Guardians of Mother Language ©Juan Carlos Reyes

フアン・カルロス・レイエス  
Juan Carlos Reyes (メキシコ)

「Guardians of Mother Language (母なる言葉の守護者たち)」

先住民の言語は世界における無形遺産の表現形態のひとつです。先住民の言語の消滅は、彼らの文化やアイデンティティの消滅に繋がると考えられます。本プロジェクトはポードレト、音声、およびコミュニティの環境を記録し、彼らのアイデンティティを保存することを目指します。



Hinterland ©Markus Naarttijärvi

マーカス・ナルティヤルヴィ  
Markus Naarttijärvi (スウェーデン)

「Hinterland (ヒンターランド)」

スウェーデン北部は現在、グリーン産業の転換期を迎えています。ある地域では、大規模なバッテリー生産への投資が再燃し、他の地域ではCO2排出の削減が可能になる製紙工場や製鉄所が建設されています。本プロジェクトは北極圏の風景を背景に、機能と美の相互作用を視覚化し、自然的・文化的景観に現れる産業変革の根底にある物語を表面化することを目指します。



Furusato ©Shina Peng

シナ・ペン 彭澤萱 Shina Peng (台湾)

「Furusato (郷)」

「郷」は、作者の祖父の故郷である中国・湖南の都市、臨湘を父親とともに巡るドキュメンタリープロジェクトです。このプロジェクトを通して自身のルーツとその歴史を学び、家族の愛や絆について探求します。



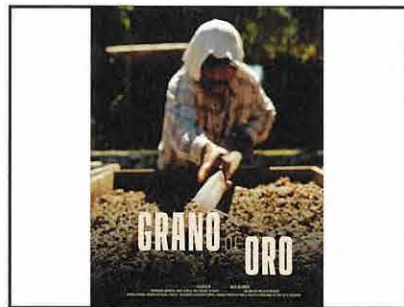
Wandering Star ©Vanessa Vettorello

ヴァネッサ・ヴェットレロ  
Vanessa Vettorello (イタリア)

「Wandering Star (遊星)」

「Wandering Star」は、写真家自身が幼少時代に大きな影響を受けた斜視をテーマにした、現在進行系のプロジェクトです。彼女の記憶、記録資料の分析、そして斜視を経験した人々との交流を通して、病気がどのように彼らのアイデンティティや自己認識に影響を与えるかを探求しています。

大賞



El Grano de Oro ©Alex Velasco

アレックス・ベラスコ Alex Velasco (米国)

「El Grano de Oro (金の粒)」[動画]

エルサルバドルのコーヒー産業は長年の内戦や政治問題によって荒廃しましたが、近年ようやく復興の兆しが見えてきました。このドキュメンタリーは、エルサルバドルの人々の悲惨な状況を乗り越える力について伝えます。



Sight of Storm ©Dike Su

ディケ・スー Dike Su (中国)

「Sight of Storm (風暴的世界)」

温暖湿潤な風は、長江流域では何億年も前から夏の風物詩であり続けました。一方で農耕の歴史においては、多くの自然災害をもたらし、絶え間ない空の闘いの中でその文明は続いてきました。このプロジェクトでは、この自然現象を記録し、「天と地」、「気候変動と人間」について掘り下げます。



People and Their World: Tsam-The Dance of Gods ©Jatenipat Ketpradit

ジャテニパット・ケットプラディット  
Jatenipat Ketpradit (タイ)

「People and Their World: Tsam-The Dance of Gods (人々とその世界: ツァム-神々の踊り)」

モンゴルの仮面舞踊クリー・ツァムの魅惑的な物語を捉えるドキュメンタリー・ファインアートプロジェクトです。モンゴルの深い山々の中に隠された300年以上前の古代宮殿の門を開けるような、その魅惑的な世界へ見る者を誘います。



Athletes of God ©Jerick "Anyo" Collantes

ジェリック・"アノ"・コランテス  
Jerick "Anyo" Collantes (カナダ)

「Athletes of God (神のアスリート)」

このプロジェクトは、ブレイクンと他のスポーツ競技の類似性を視覚的に検証するものです。比較的歴史の浅い芸術形態であるブレイクンは、誕生以来、型にはまらず発展してきました。そのダンスフォームを他の競技環境に組み込むことで新たな可能性を探求し、ブレイクンの魅力を写真を通じて紹介します。

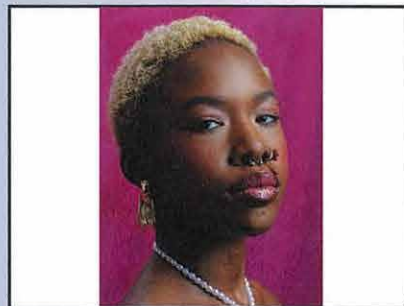


Unseen Echoes: Capturing the Unseen Symphony of Human Gestures ©Junghoon O

オ・ジョンファン Junghoon O (韓国)

「Unseen Echoes: Capturing the Unseen Symphony of Human Gestures (見えざる響き)」

「Unseen Echoes」プロジェクトでは、演者たちの感情や表情が絡み合う多様なジェスチャーを写真という静止面に収め、時間の連続性と瞬間の表現の対象化を試みます。



The Bodies We are Born with ©Kaylah Sambo

ケイラ・サンボ  
Kaylah Sambo (米国)

「The Bodies We are Born with (生まれつきの身体)」

このプロジェクトでは、黒人女性の本質的な美しさを示します。黒人女性に対する偏見や差別など、時に社会はネガティブな要素で溢れることがあります。そのような喧嘩を切り裂き、黒人女性を支持する多くの声(そしてまだ十分ではない声)を表現するものです。



The Master of Time ©Large Django

ラルグ・ジャンゴ  
Large Django (フランス)

「The Master of Time (時の支配者)」

グローバル化と工業化によってその存在を脅かされている、先祖代々の技術を守り続ける職人たちに焦点を当てたプロジェクトです。職人たちとその熟練した技術に敬意を表すとともに、彼らをより多くの人々に知ってもらうために、その姿を詩的な表現でとらえ、彼らの文化遺産の保護を目指します。

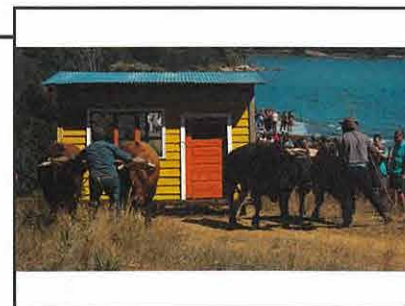


Soundscape of Croatia ©Mislav Mesek

ミスラフ・メセック  
Mislav Mesek (クロアチア)

「Soundscape of Croatia - Roadtrip (クロアチアの音風景)」

「Soundscape of Croatia」は、作者が情熱を傾ける写真/ビデオ制作、音楽、そしてオートバイという3つの分野すべてを使ったプロジェクトです。クロアチアの各地をバイクでめぐりながらアーティストとの音楽セッションを撮影しています。

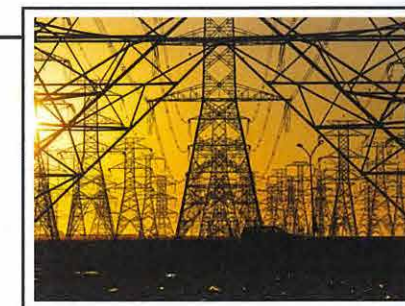


Minga ©Santiago Javier Bazan

サンティアゴ・ハビエル・バサン  
Santiago Javier Bazan (アルゼンチン)

「Minga (ミンガ)」

「Minga」はチロエ島(チリ、パタゴニア)に伝わる伝統行事で、年に一度、地域の人々が力を合わせ、ロープや滑車を使って歴史的な木造家屋を移動させます。人間と自然、家と旅、安全と回復力のつながりを探求し、遺産、文化保護、地域社会の不朽の精神など、時代を超えたテーマについて掘り下げます。



Structures of Solitude: The Desert Towers Project ©Seokjun Yun

ユン・ソクジュン Seokjun Yun (韓国)

「Structures of Solitude: The Desert Towers Project (孤独の構造: 砂漠の塔)」

本プロジェクトは、息を呑む圧倒的な砂漠の中にそびえ立つ送電塔の本質を捉えることを目的としています。これらの建造物は、自然の力に立ち向かう人間の革新の象徴です。言葉と写真による視覚的な物語を通して、これらの建造物の隠された物語、哲学的な意味、美的な美しさを明らかにします。

優秀賞

Regional Grant Award



**FUJIFILM**  
Value from Innovation

富士フィルム 企画写真展

**GFX Challenge Grant Program 2021**

**Make Your  
Next Great Image**

**2022.12.16** [金] **25** [日]

富士フィルムフォトサロン 大阪 入館無料・会期中無休

10:00-19:00 (最終日19:00まで、入館は終了10分前まで)

全世界から選ばれたクリエイター15名の作品展

Magical Huge Underground Space © 李晋

富士フィルム 企画写真展

GFX Challenge Grant Program 2021

# Make Your Next Great Image

2022.12.16 [金] — 25 [日]

主催 富士フィルム株式会社

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

※ 祝花は固くお断り申し上げます。



富士フィルムフォトサロン 大阪  
<https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/>



GFX Challenge Grant Program 2021  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/special/gfx-challenge-program/#>

富士フィルムフォトサロン 大阪

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7

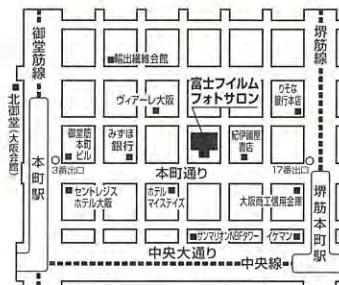
メットライフ本町スクエア (旧大阪丸紅ビル) 1F

TEL 06-6205-8000 電話受付時間 [平日10:00~18:00]

地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩5分

地下鉄 堺筋線「堺筋本町」駅下車17番出口より徒歩3分

入館無料





FUJIFILM

富士フィルム 企画写真展

GFX Challenge Grant Program 2022

# Make Your Next Great Image

2023.12.8[金] — 20[水]

富士フィルムフォトサロン 大阪

入館無料・会期中無休

10:00-19:00 (入館は終了10分前まで)

Family Stuff ©Qingjun Huang (GFX Challenge Grant Program 2022)





富士フィルム 企画写真展

GFX Challenge Grant Program 2022

# Make Your Next Great Image

2023.12.8[金]—20[水]

主催 富士フィルム株式会社

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

※ 祝花は固くお断り申し上げます。



富士フィルムフォトサロン 大阪  
<https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/>



GFX Challenge Grant Program 2022  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/special/gfx-challenge-program/2022/>

富士フィルムフォトサロン 大阪

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7

メットライフ本町スクエア (旧大阪丸紅ビル) 1F

TEL 06-6205-8000 電話受付時間 [平日10:00~18:00]

地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩5分

地下鉄 堺筋線「堺筋本町」駅下車17番出口より徒歩3分

入館無料

